

隠岐諸島の小さな島

ちぶり島移住読本



ごあいさつ

日本海に浮かぶ隠岐諸島。

その中で一番小さな有人島が、知夫里島（ちぶりじま）です。

スーパー、コンビニ、ドラッグストア、ありません。

娯楽施設も、リゾート施設も、ありません。

ついでに言うなら、信号機だってありません。

都会と比べると「ない」づくしの島ですが、

ここには海があり、山があり、海山からいただく自然の恵みがあり、
その豊かな恵みをおすそ分けしあう、人々のあたたかな絆があります。

そんな知夫里島での暮らしが、少しでもイメージできるように、
この本を作りました。どうぞ手に取ってご覧ください。



われも
ちぶり島に
移住したのじゃ

ちぶり島キャラクター
あまさしひこクン



Contents (目次)

2 ごあいさつ

知夫里島基本DATA

- 4 知夫里島MAP 7つの集落紹介
主な施設一覧
- 5 気候
インフラ・ネット環境
- 6 自然・伝統文化
- 7 主な産業

8 日々の暮らし ～お買い物・飲食～

- 10 住まいQ&A
仕事Q&A
- 11 子育てQ&A
医療Q&A

12 人とのつながり

13 先輩移住者インタビュー



知夫里島 基本DATA

隠岐諸島の南端に位置する知夫里島は、古来より本土から渡ってくる船が最初に停泊する「隠岐の玄関口」でした。海路の安全を守る神「道触神（ちぶりがみ）」が島の名前の由来と言われています。

知夫里島MAP



島根半島から 約40km
総面積 13.7km²
周囲 約26km
本土からフェリーで約2時間
島一周は車で約2時間
人口 587人
高齢化率 47.0%
牛 約800頭
タヌキ 推定2000匹
(2024年3月現在)

主な施設一覧

【教育施設】

保育園	1
小中学校	1
高校	0
図書館	1

【医療機関】

診療所	1
歯科診療所	1

【金融機関】

農協 ※ATMのみ	1
郵便局	1
漁協 ※ATMなし	1

【その他】

駐在所	1
消防署	1
高齢者福祉施設	1
ごみ焼却場	1
ガソリンスタンド	1

知夫村には7つの集落があります。

郡（こおり）・大江（おおえ）地区が中心部となっており、役場、学校、診療所、農協、郵便局、商店が集中しています。

7つの集落紹介（北から順に）

うるみ 古海 一番過疎化が進んでいるが、「蘇民将来」など独自の文化がある。

くりい 来居 フェリー港がある知夫の玄関。若者・子育て層多し。河井の地蔵さんの湧き水がある。

こおり 郡 古来から知夫の中心地で、役場・学校・お店が集中。知夫の一宮神社（天佐志比古命神社）が鎮座。

おおえ 大江 同じく知夫の中心地。坂を上ると一気に山感が強くなり、雰囲気のあるお堂や杉林が。

にぶ 仁夫 仁夫里とも言う。赤ハゲ山の麓に田んぼ跡が広がるのんびりした景色。

たたく 多沢 漁師町の面影色濃い地区。最近若者が増加。

うすげ 薄毛 知夫で一番暖かい。渡津海水浴場がある。

気候

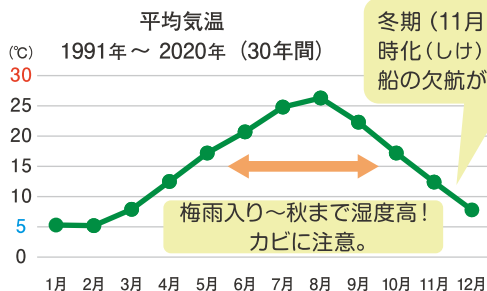
隠岐諸島の中では
いちばん暖かい知夫里島。

夏

それなりに暑い、
夏でも風が通り
比較的過ごしやすい。

冬

風が強く曇りがち。
天気のコロコロ変化。
雪も多少降るが
積もることは稀です。



※気象庁のデータを元に作成
(知夫村の測定値がないため、隣島の海士町のデータを利用)

風

冬の風は思った以上に強いです。
台風の方が弱く感じることもあるほど。
洗濯物が飛ばされないよう注意が必要
です。



停電

落雷・強風による停電があります。たま
に何でもない日に停電になることも……。
ランタン・モバイルバッテリー・カセット
コンロなど用意しておくで安心です。



気候・天候
知夫あるある

欠航

台風・強風による時化で、
特に冬期はたびたび船が
欠航します。
3日間欠航することもある。
食料をある程度備蓄
しておくで安心です。



湿気

島の湿気をあなどるなかれ。梅雨入りと
同時にカビとの戦いが始まる……！
革製品はもれなくカビます。
除湿器や
サーキュレーターが
大活躍します。



インフラ・ネット環境

下水設備……島内のほぼ全域で整備されています。

公共交通機関(村内)……村営バス、タクシーがあります。バスは運行本数が多いので、
自家用車の利用が一般的です。

島前の3島間の往来は「内航船」……島前(知夫里島、西ノ島、中ノ島)の3島間には内航船が
運行しており、便数も多いです。(片道大人300円)

インターネット環境……光回線が使用できます。

携帯電話……ほぼ全域でつながりますが、地形の関係でつながりにくい場所もあります。
また、通信会社によって電波が弱い場合があります。

自然・ 伝統文化

「大山隠岐国立公園」「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」にもなった独自の生態系・多彩な景観に恵まれた知夫里島は、隠岐諸島の中で最も本土側に近いことから、古来から交通の要所となっており、中世では遠流の島として、中央からの政治家・知識人が配流され、様々な文化が伝わってきました。



一宮例大祭 白波五人男



蛇巻き



島前神楽

島民に聞きました！

自然に囲まれたちぶり島生活。 よかったことは？

「自然に触れる機会がたくさん！」
「仕事帰りに見る絶景は最高！」
「きれいな景色を見ながらのウォーキングやサイクリングが毎日楽しめる」
「いつもの散歩道を歩くだけで、季節の移り変わりを感じられます」
「海キレイ！空気おいしい！夕日最高！騒音なし！」
「海泳ぎや畑、魚釣りなど年中自然体験ができる」
「子どもの体調面や、自分の体調も良くなった」



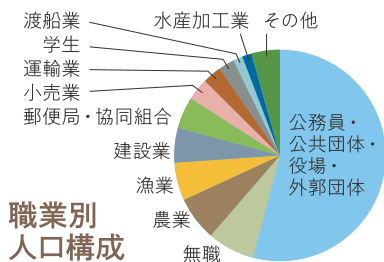
ちぶり島の楽しみ方♪ 春夏秋冬

- 春** ・ 山椒、せり、ノビル、ツワブキ、筍、タラの芽などの山菜採りや、野イチゴ狩り
・ 旬の岩ガキを堪能！
- 夏** ・ やっぱり海！泳ぎ！潜り！マリンスポーツ最高！
・ キャンプや磯遊び、BBQ！
・ 知夫の花火大会は間近で迫力満点！
- 秋** ・ 木の実や果物狩り
- 冬** ・ 海苔つみやワカメとり
・ ブリなど美味しい海の幸が沢山！

★釣りは年中楽しめます。目の前が海の知夫は釣り天国！移住してから釣りにハマる人多数！



主な産業



主な産業は、畜産業・漁業です。

島がほぼまるごと放牧地となっており、畜産業での新規就農を希望して移住される方が近年増えています。

漁業は、畜産と並ぶ伝統的な基幹産業であり、主な形態は小型漁船での一本釣り、刺し網、採貝藻などの沿岸漁業、岩ガキ養殖ですが、後継者不足による高齢化が課題です。

Uターン、
Iターンの方で、
島内で起業した方も
いらっしゃいます。



お菓子製造販売
「めにーでーる」さん



民泊「古風の宿 孤島」さん



喫茶店「のらり珈琲」さん

日々の暮らし ～お買い物・飲食～

島には商店しかないらしいけど、何を買えて、何を買えないの？

外食できるお店が殆どないらしいけど、島の皆さんはどうしてるの？……

そんな疑問にお答えします！

お店の数はどのくらい？

(2024年3月現在)

商店 4 電器店 1 床屋 1

飲食店 昼 6 (冬期 5) / 夜 5



● 知夫にないもの 一例 ●

スーパー、ドラッグストア、コンビニ、
コインランドリー、クリーニング店、
携帯ショップ、ヘアサロン etc.

商店

食品・日用品などが揃っている商店は、
郡地区に集中しています。

- ・ 開店：朝8時ごろ
閉店：夜7時ごろ
- ・ 品揃え：商店毎にまちまちですが、
意外と色々あります。
(野菜は品目少なめ)

物価は？

輸送費がかかるため、食品・日用品・
ガソリン等の価格は本土より高いです。
お裾分けで魚介類や家庭菜園の野菜を
頂いたりすることも多く、**魚釣りや山菜
とり等でお金をかけずに豊かな食卓を
楽しむこともできます。**

⇒ 高い日用品などは、ネット注文で
安く購入しています という声も。

村内で買えないもの (例)

- ・ おむつ ・メガネ、コンタクトレンズ
- ・ 薬 ・ 100均グッズ ・ 裁縫道具
- ・ ホームセンターで売っているようなもの

⇒ 本土や隣りの島に行って買ったり、
ネット注文で手に入れています。
(ネット注文は、画面上の配送日
+1日みておくといいかも)

具体的な島の物価は？ (一例) (2024年3月現在 村の商店の平均値)

◎食品

- ・ たまご(Lサイズ10個) ￥255
- ・ 牛乳(1000ml) ￥280
- ・ 食パン(6枚切) ￥270
- ・ 豚肉スライス 200g ￥390
- ・ 鶏肉モモ 500g ￥720
- ◎ガソリン (1L) ￥183

◎日用品

- ・ トイレトペーパー ￥460
(12ロール)
- ・ 食品用ラップ ￥275
- ・ 洗濯洗剤(粉) ￥505
- ・ 村指定燃えるゴミ袋 ￥600
(小10枚)

物価は
高いけれど
家賃は安いです。
(家賃相場は
10ページを
参照)

飲食店

飲食店が少なく、お惣菜やさんもないので、自炊生活がメインになります。
職場と自宅が近い知夫里島では、お昼は自宅に帰って食べる方が多いです。

島の飲食店
情報はこちら



何もないぶん、料理が
できるようになった！
魚が捌けるようになった！
という声も多いです。

お店に行っても
見知った人ばかりで
息抜きの場所がない、
という声も。

お店が少ないのは不便ですが……

「お金を使うところがない！」
⇒無駄遣いが減った！
自然と節約できた！

という声多数！

隣の島や、たまに本土に行った
時に外食したり贅沢したりして、
島生活とのメリハリをつけている
方が多いです。



島民に聞きました！

お店の数や種類が少ない、娯楽施設がない……

ちょっぴり不安だけど…… みなさんどうしてる？

「娯楽施設はないが、そもそも、それを望むなら小さな離島には住めない。いつも行くわけでもないの、時々本土に出た時に行く程度で十分。それよりも都会にはない自然で遊べる方がいいと思う。」

「知夫にないものは隣の島や本土やネットで賄える！
ホームの知夫では“何もなさ”を満喫する！」

「冬は海の時化で船の欠航も多く、閉塞感が強くなり、メンタルを病みそうになることもあるので、隣の島に遊びに行ったり、楽しい遊びを企画してみたり、心のうちを聞いてもらったりしながら、心の風通しを良くする！」

近ごろ、ちぶ里島にも
居酒屋さんや喫茶店が
OPENしたりして、ちょっと
一息つける場所が増えています。
自分にフィットする、お気に入りの
「サードプレイス」をみつけて
くださいね♪

航路・空路の「島民割引」を受けられます

知夫村に住民登録を行っている方は、隠岐汽船の航路や空路の運賃割引を受けられます。
（「隠岐航路・航空路運賃助成対象者証明書」の発行が必要です。）

割引例：航路フェリー隠岐ー本土（2等片道）3,510円→1,420円

空路隠岐ー出雲（片道）14,100円→5,600円

（2024年3月現在）

乗船券・航空券の購入時に証明書の提示を求められます。詳しくは知夫村役場へお問合せください。

Q & A 住まい

空き家はあれども「住める状態の空き家」は少なく、賃貸可能な物件は常に不足しています。事前の問合せ・下調べが重要です。

Q：不動産屋さんにはありますか？

A：ありません。移住希望者の方への住宅相談窓口は「役場（地域振興課）」が担当します。

Q：空き家はありますか？

A：居住可能な物件には限りがあり、お問合せいただいた時点で空き家があるとは限りません。まずは相談窓口の「役場（地域振興課）」へお問合せください。

Q：家賃の相場は？

A：都会に比べて家賃相場は低く、広さにもよりますが、
一軒家は2～3.5万円
アパートは2～3.5万円くらいが相場です。
※民間のアパートはなく、村営の住宅になります。

Q：移住を決める前に、お試しで移住体験をすることはできますか？

A：村では移住体験住宅も用意しています。詳しくは「役場（地域振興課）」へお問合せください。

Q：引越し方法・費用は？

A：荷物は船便での輸送になります。運送費用は荷物の量や時期、距離、運送業者などによって異なります。
予想以上に高額になることもあるので、事前に先輩移住者から情報を仕入れたり、運送会社に問合せするなど、下調べをしておきましょう。



Q & A 仕事

「仕事がない」というイメージの強い田舎ですが、実は求人が沢山あります。また、近年ではリモートワークで本土の仕事をしながら島暮らしする方も徐々に増えています。

Q：どんなお仕事がありますか？

A：島内の求人は様々ありますが、福祉関係・教育関係・ホテル業務関係は需要が高いです。また、島の主な産業である畜産業・漁業については、担い手となる方への支援制度があります。詳しくは「役場（地域振興課）」へお問合せください。

Q：仕事を探すにはどうすればいいですか？

A：知夫村WEBサイトの「求人情報」からもお探しいただけます。
また、求人情報は人づてに巡ってることが多いので、住んだ後に地元の方とのお縁が増えることで求人情報が舞い込んでくることもよくあります。

求人情報
はこちら



Q：賃金の水準は？物価が高いらしいので暮らしていけるか不安です……。

A：賃金の水準は本土と比べて高くはありませんが、家賃が安く、お金を使う場所も島内にあまりなかったり、ご近所さんからのお裾分けを頂くことも多かったりで、本土にいる時よりもお金が貯まりやすいという声が多いです。

Q & A 子育て

自然に囲まれ、治安もよい知夫里島は、島民からも「子育て環境バツグン!」という意見多数! 島内には高校がなく、中学校卒業後は島外の高校へ進学することになります。

Q: 子育て支援の助成はありますか?

A: 2024年3月現在、下記の助成制度があります。

・子どもの医療費無料

対象年齢: 0歳～満18歳(高校3年生まで)

・子どもの通院費助成

知夫診療所、島前病院から紹介された通院について交通費を支給します。

専門的医療にかかる通院費助成も支給します。

・子どもの保育料無料

などがあります。



Q & A 医療

島には診療所がひとつ、歯科診療所がひとつあります。隣の西ノ島には「隠岐島前病院」(内科兼小児科・外科)があり、内科・外科以外の専門科(耳鼻科・眼科・精神科・産婦人科・整形外科)は、外部の病院より派遣医師が月1～2回来島し、診療を受けることが可能です。

Q: 緊急時、診療所に対応できない場合は?

A: 高速艇「ちぶ」で、西ノ島の島前病院へ搬送されます。

Q: 島前病院に対応できない場合は?

A: ドクターヘリで本土の病院へ搬送されます。

Q: 妊娠・出産は?

A: 西ノ島の島前病院で、月2回産婦人科外来があり、定期検診が受けられますが、出産はできないため、本土での出産になります。

(妊婦検診や出産について、各種補助・助成があります)



知夫村診療所

医療体制が
脆弱な離島

ちょっぴり
不安……

本土の病院へ行くときは、少なくとも2日必要になる。

⇒ たまにフェリーに乗って本土に行けるし、ついでに買い物もしようかな? なんて、割り切っている方も。

悪天候の時に、病気や怪我をして移送の必要が出たら……と不安を感じる。

⇒ 健康でいられるように気をつける!

「島に来てから子どもの体力がついて、自分も体調がよくなった」という方もいらっしゃいます。

※ 専門的医療に係る通院費の助成制度(がん・人工透析等の治療)があります。

人とのつながり

昔ながらのご近所づきあいが残り、人と人との助け合いで成り立っている島暮らし。
住んでいる地区は、区長さんを中心とした自治会により運営されており、草刈りなどの
地区清掃や、季節ごとの伝統行事への参加、区会への出席などが求められます。

村内情報は
回覧板！



体育祭も
文化祭も
村全体で！



人との
距離感の
近さ



困ったこと
があっても
皆が助けて
くれる

老若男女皆
子どもを可
愛がってく
れる

どちらも
表裏一体

私生活
も全部
丸見え

良くも悪くも
仕事と暮らし
の境目がない

誰もが顔を
知っている
環境に安心
できる

季節ごとの行事
が色々あって
島の人と交流
しやすい

あまり頑張りすぎず、
うわさ話も耳半分
自分の心地よい
距離感で

うわさ話
が多い

人間関係の
しぐらみがある

まあいっか、まあええだわい、
と開き直ると楽ですよ

島民に聞きました！

人とのつながりの濃い島暮らし、ちょっと不安です……
みなさんどうですか？

「島の人は何でもできる人が多いので、
困った時は思い切って甘えて、その分
できることでお返ししている」

「自分自身の持ちようで幸せに過ごせます。
人との交流が密な田舎です。『お互いさん』
をモットーに関係性を築いていけば、知夫
の良さを実感できます」

「最初は孤独感を感じて、誰に相談して
いいかわからなかったが、友人が出来、
楽しみが広がった」

「地域の文化など、地域の人と関わる
ことはたくさんあります。地域が大切
にしてきた文化・伝統を、住民の方と
ともに歩む姿勢が大切」

先輩移住者インタビュー

知夫に移住（Iターン・Uターン）して、島暮らしを日々楽しんでいる先輩の皆様に、知夫里島移住のアレコレを聞いてみました



★WEBサイトでもっと詳しく読めます！ ⇒ [ちぶり島公式note](#)



質問事項

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ① 知夫里島へ
引越した年は？ | ⑤ 家族構成 |
| ② 当時の年齢は？ | ⑥ Uターン・Iターンのキッカケは？ |
| ③ 前職→現職業 | ⑦ Uターン・Iターンの際に苦労したこと |
| ④ 移住する前の居住地 | ⑧ 移住してよかったなあと感じることに |
| | ⑨ 移住検討者へのメッセージ |

Uターン 濱さん ファミリー



- ① 2001年
- ② 25歳
- ③ 夫：設備関係⇒漁師
妻：金融関係⇒ケアマネージャー
- ④ 島根県
- ⑤ 3人家族⇒5人家族
- ⑥ 夫：故郷に帰って漁師になろうと思った
妻：しかたなくついてきた（笑）漁師の仕事は手伝わない約束で。（今では魚外しのプロです♪）
- ⑦ 当時はネット環境が良くなかったので欲しいものが手に入りにくく不便だった。会社員から自営業への転職だったので生活リズムやお金のやりくりの変化に苦労した。
- ⑧ Uターン当初は不便な生活にストレスを感じることも多かったが、同世代の友人ができ、ごはんを食べたりイベントで出店したり学校行事も殆ど参加しました。子育てピークの時代に親子で濃い時間を過ごせたことが「知夫に来て良かったNo.1」です！子どもと海で飯盒炊飯したり釣りに行ったりとアウトドアな子育てができる環境も最高です。
- ⑨ 田舎は不便ですが、「不便な生活を楽しむ」という視点で生活すると日常生活が楽になります！私たちがUターンした頃に比べて住みやすくなってます。特に子育ての環境は最高ですよ！

Iターン 山内さん ファミリー

- ① 2018年
- ② 28歳
- ③ 飲食業⇒飲食業
- ④ 東京都
- ⑤ 単身⇒3人家族

- ⑥ 仕事&自給自足の生活がしたくて。
- ⑦ 離島なので引越が大変でした。8割処分して来ましたが（笑）
- ⑧ ゆったり暮らせること。規則正しい生活になった。食べ物がいっぱい。
- ⑨ 人生一度なので、興味があつたらぜひ一度離島生活チャレンジしてみてください！Iターンが増えているので、住みやすいです！



先輩移住者インタビュー

Uターン 百合子さん



- ① 2016年 ② 32歳
- ③ 飲食店⇒民泊・学校給食調理
- ④ 島根県 ⑤ 単身
- ⑥ 古い建物が好きで、知夫に空き家が増えているので活用して残していけたらと考えていたところ、丁度宿が不足しており、当時移住者に向けた補助金もあったので移住して宿を始めようと思った。知夫の自然が好きだったのもある。
- ⑦ 物件探し。空き家のゴミの処理。
- ⑧ 良くも悪くも人との距離が近いので色々な人と知り合いになれる。季節の味覚・風景が味わえる。空気の匂いがいい。補助金などをうまく活用すれば新しい活動が始めやすい。

⑨ 知夫里島は未開拓の良さがたくさんあります。新しいことを始めたり、自分なりの楽しみをみつけたり、自分次第です。何もないから自分で開拓できる人が向いているかも。

Iターン 稲澤さん ファミリー



- ① 2018年 ② 夫：36歳 妻：34歳
- ③ 夫：運送業⇒畜産業
妻：カフェ勤務⇒菓子製造業
- ④ 兵庫県 ⑤ 4人家族
- ⑥ 牛飼いになるため
- ⑦ 子どもの気持ちの切り替え。島に子どもが慣れるまで苦労した。外食や総菜屋さんがないので生活が安定するまでバタバタしたかな？
- ⑧ 夫：家族といつも一緒にいられる。
妻：子どもとの時間が増えた。
- ⑨ 夫：そこで上手くいってなかったらこっち来たらいいよ。
妻：家族との時間を大切にしたい方にはおすすめの島。

夫：Uターン 山根さん 妻：Iターン ファミリー



- ① 2013年 ② 夫：29歳 妻：26歳
- ③ 夫：介護職 妻：パート
- ④ 島根県 ⑤ 5人家族⇒6人家族
- ⑥ いつかは帰りたいと思っていました。夏に帰省した際に知夫での仕事や住居の話があり「帰っておいで」の声に決めました。
- ⑦ 住居の確保、相談できるところの有無。予定していた住居の話がなくなり、引越日は決まっていたので焦りました。知夫では相談できるところが殆ど役場や知人など人伝で、それすら分らなかった。
- ⑧ 子育ては知夫でできて良かったと思います。どこに住んでいても育児は大変ですが、早くて15才で親元を離れると思うと…。知夫は近所の人も学校も子どものことを考えてくれて大事にしてくれる。職場も家庭優先にさせてもらえて助かる。

⑨ 離島と聞くと「不便じゃない？」とよく言われますが、欲を言えば不便でしょう。住んでみるとなんとかなるし、なんとかできるようになる。家族との時間、自分を知るにはとても良い。悩んでいても目の前は海で、のんびりした景色。悩むことすらステキですよ。

夫:Uターン 徳田さん
妻:Iターン ファミリー



- ① 夫:2009年 妻:2014年
- ② 夫妻:29歳
- ③ 夫:販売業⇒役場職員⇒漁業・水産加工業
妻:運動指導・スポーツ教室
- ④ 夫:京都府 妻:鳥取県
- ⑤ 夫:単身 妻:結婚を機に移住⇒4人家族

- ⑥ 夫:いつかは帰りたいと思っていた時に様々なタイミングが揃った為 妻:結婚
- ⑦ 夫:地元の方々や職場の方々に受け入れてもらえるか、うまく関わっていけるか、不安や心配があった。
妻:移住後すぐ出産⇒育児だったので、気軽に話せる相手や頼れる人がおらず2年間はずっと子どもと過ごす日々。赤ちゃんを連れて行ける場所が近くになかった。子どもと本土へ出たり隣の島に買い物に行き気分転換した。
- ⑧ 夫:地元に戻るという人生にチャレンジできたこと。親の後を継ぎ家業に携わり、日々自然と向き合えることに時に楽しさを感じる。
妻:子ども達が自然の中で育っていく姿を見ると知夫で良かったなぁと感じる。

- ⑨ 夫:島での生活は苦労も少なからずありますが、この島に魅力を感じた先輩移住者が多くおられます。是非一度島を訪れてみてください。
妻:知夫の生活を続けてこれたのは自分にとって大切な存在がいたからこそ。子ども達と知夫の魅力を分かちあえることが私にとって一番の幸せです。

夫:Uターン 小新さん
妻:Iターン ファミリー



- ① 2000年 ② 夫:31歳 妻:26歳
- ③ 夫:ビルメンテナンス⇒畜産・ゴミ収集業・民泊代表 妻:営業事務⇒民泊女将などマルチワーカー
- ④ 大阪府
- ⑤ 4人家族⇒8人家族⇒夫婦2人

- ⑥ 当時、子ども達の気管が弱く、夫の田舎である知夫で1か月生活。結果、子ども達が健康的に過ごせ、移住を決意。夫は抵抗があり半年間説得、4人家族で移住。
- ⑦ 周囲の人が噂話で全てを知っている。田舎ならではのしがらみ。日々の買い物。子どもが病気をした時。
- ⑧ 子ども達が健康に育ち巣立ったこと。旬の食材を手に入れ元気に過ごせること。大切な友人と過ごせること。役目が増え頼りにされること。人情味の深い方々との交流。

- ⑨「田舎でのんびり…」なんてことはありません。限られた商店、地域のこと、子育て、仕事…女性は特に出番が多いです。その点をどう捉えて過ごすか?で大きく変化します。なんとでもなります!大丈夫です!一番のおすすめは子育て環境が良いこと!診療所しかない分、健康で暮らそう、元気な体作りを、と心掛けられるので、子ども達も健やかに成長します。検討されている方は「わからないことがわからない」と思います。実際に知夫に来島され、遠慮なくお訊ねください!

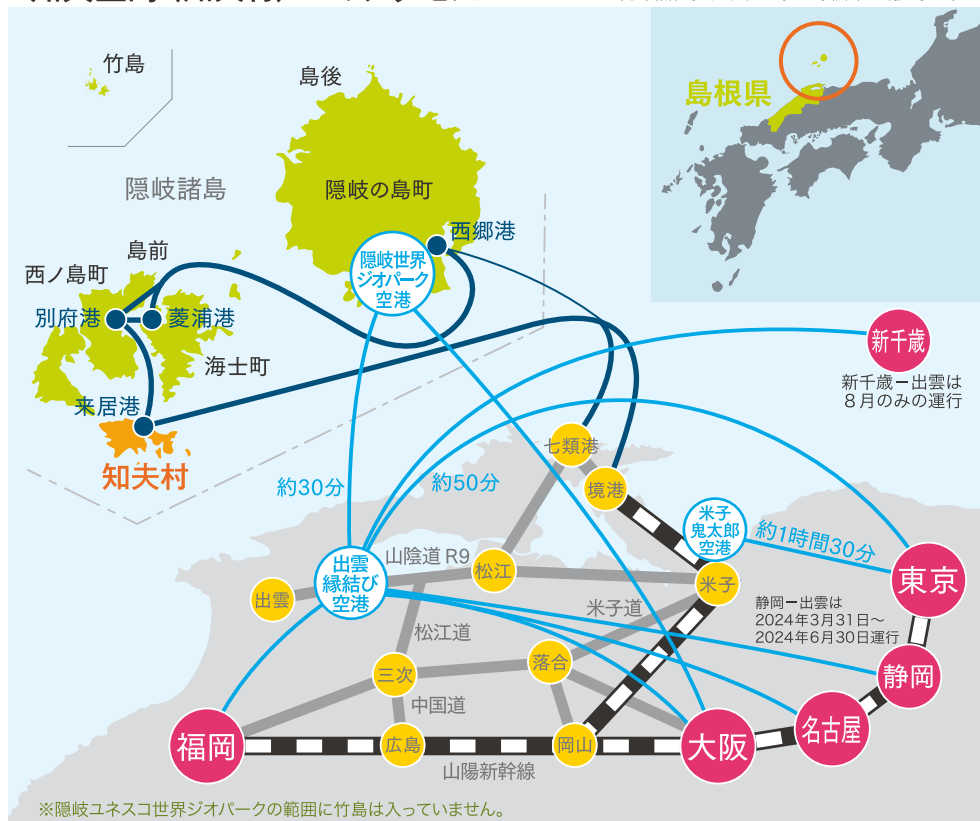
私たちも、移住を全力でサポートします。

わからないこと・不安なこと、是非お気軽にご相談ください。

知夫村役場地域振興課 (TEL: 08514-8-2211)

知夫里島（知夫村）へのアクセス

隠岐諸島 知夫里島は島根県の離島です



ちぶり島（知夫里島）を身近に！ 島生活の「リアルな情報」を公開中

X

ちぶりP
@ChibuRip

note

ちぶり島公式note



〔企画・製作・発行〕 知夫村役場 地域振興課
〒684-0102 島根県隠岐郡知夫村1065 TEL:08514-8-2211
イラスト・編集・取材：櫻谷聡美